



さんが

第 九六 号

平成 三十 年

西暦 二〇一八年

正月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五六一三一一二二七二

FAX 六三二一五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

東堂 泰明

寺族 マヤ

妙子



画 妙子



昨年の酉年は「商売が熟す年」と言われていたが、つづく戌年は「守りの年」なのだそうです。

『桃太郎』なら、申年、酉年、そして今年は戌年と鬼退治に向けて仲間がそろいます。

戌は忠義の象徴であり、勤勉な努力家という意味もあるとのこと。鬼のような苦難を寄せつけないためにも、守りを忘れない一年であれば良いですね。

どんなことも、忘れず継続しつづけるのは、たいせつにしている証です。そして、そのたいせつなことが、あなたを守ってくれるのです。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

永平寺に、行ってきました

昨秋、恒例の団参にて、曹洞宗大本山永平寺へ参拝してまいりました。

永平寺では、てっぺんの建物である法堂にて、ご参加みなさまのご先祖供養法要も営まれました。他には、開創千三百年という歴史を持つ真言宗別格本山那谷寺へ。車や眼鏡の広大な博物館も見学し、山代温泉にて日本海の魚を賞味してまいりました。

東運寺からは住職をふくめて、五名で参加しました。団参は今年もあります。みなさまのご参加を、心からお待ちしています。



江戸時代後期に建てられた唐門
いちばん永平寺らしい風景でしょうか。

薬師堂の瓦、補修中です

昨年十月に上陸した台風二十一号は、大きな被害を残しました。みなさまのところはいかがでしたか。

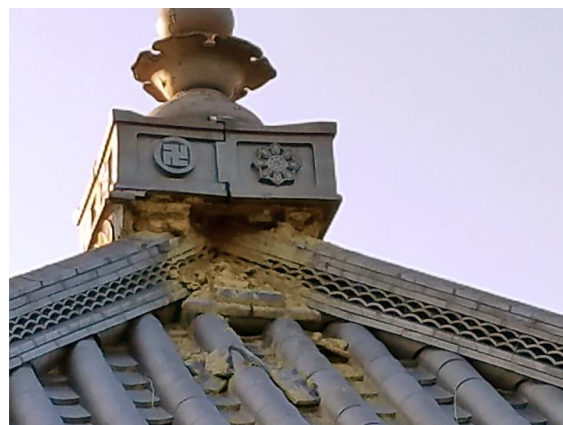
東運寺では、薬師堂の瓦の一部が落ちました。現在は養生を行い、瓦屋さんによる修復を待っている状態です。

薬師堂には足場と幕が張られ、お墓参りの方にはご迷惑をおかけしております。大変申し訳ありません。

春彼岸には修理が完了する予定です。どうかご了承下さいませ。

松は残ります

ご心配をいただいていた庭の松は、庭師さんと相談をし、残して様子を見ることになりました。青い葉が少しずつ出てきているためです。このまま、元に戻ってくれば、と願うばかりです。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→